運動の楽しさと技能の両立を!

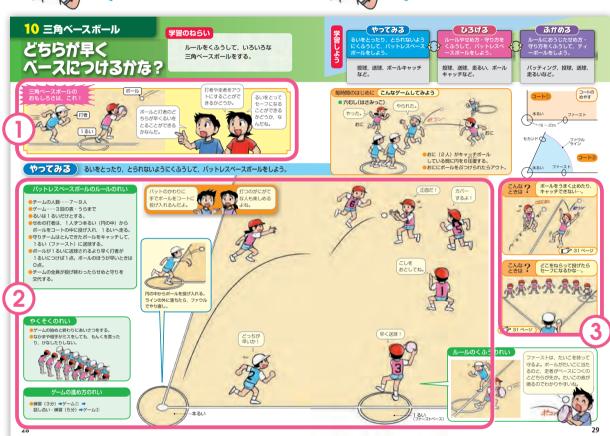
そのゲームがもつ 「おもしろさ」を提示。 **やってみる** では、子どもたちが**「おもしろさ」**を 学習課題として体験し、理解できる工夫された ゲームを提示。



ご 三角ベースボールは、 「塁がとれるかどうか」がおもしろい!



´´バットレスベースボールは 、 ルールが簡単でおもしろい!



3 学習課題を達成するために必要なものとして技能に目が向き、 技能を意識しためあてを立てることができます。

塁をとるにはどこにボールを 投げたらいいのかな?





ボールの投げ方を うまくなる必要があるね! 31ページの資料を活用して試してみよう!

塁をとられないためには, どうすればいいのかな?





捕り方もうまくなる 必要があるね!





ボール運動

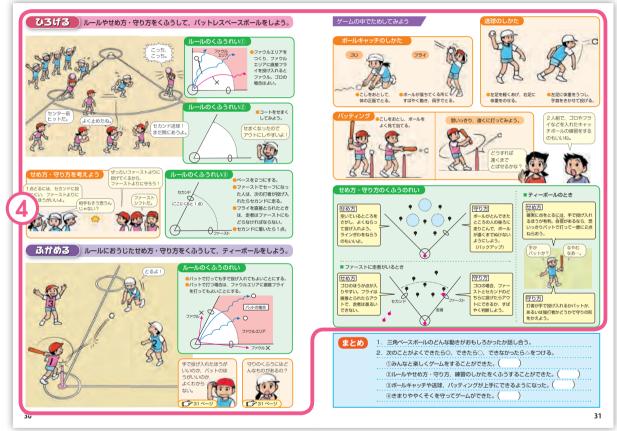
ここが **▶▶ ポイント**

子どもたちが、ゲームの「おもしろさ」を 理解することで、自分たちに必要な技能 はなにかを考え、具体的なめあてをたて ることができます。



--^ バットを使わない簡単なゲーム だから、「塁をとれるかどうか」 --、 だけを考えればいいんだね。 技能の練習から学習に入ると、その技能の習得が 目的になってしまい、なんのための技能なのかを ゲームの楽しさと結び付けて理解することができま せん。

『体育の学習』ではゲームのおもしろさと技能を関連づけて学習できる構成になっています。



23げる ふかめる では、ルールの工夫の例や、さらにおもしろさを 加えたゲームを紹介。個人技能からチームとしてどのような技能を身に つければよいか、攻め方・守り方、戦術といった集団技能へと目を向けさせます。

ボールゲーム, またやりたいな!



次は塁を増やしたり, バットを使ったりしてみよう!

もっとみんなで協力して、 攻め方や守り方を工夫して ゲームをしよう!





